

模倣期から自立期

そだちの
ポケット

模倣期

イヤイヤ期

自立期



0歳



1歳半



3歳

幼児期の間はずっと模倣期だと思ってください。椅子に座って本を読んで欲しいのなら、その姿を見せる。元気にジャングルジムを登って欲しいなら、保護者自身が見せるか他の子どもの姿を見せる。模倣期は何を模倣して欲しい見せる大切な時期です。

イヤイヤ期が現れる年齢も個々に違います。みんな通る道なんだと思い、「そうか、これがイヤイヤ期なんだ」と思えば良いのです。明日も仕事、こんなことしてられない！と大人の都合に心を占拠されずに「もう少し付き合おう！私の愛情を試しているのかな!？」とハグをしましょう。「泣いてもいいし、膝の上でもいいし、イヤイヤしてもいいよ」と思っている方がその時期は早く過ぎます。

そして、自立期。今までだとダダこねるだけだったのに「そうだね」と妙に納得した顔になってびっくりします。自立期も3歳過ぎると「扱いやすくなった」と言われる方が多くなります。子どもも自分でできることが増えて「すごいでしょ」と鼻高々。それに気が付いてしっかり褒めてあげてくださいね。